

# 中間処理施設 [熱回収(焼却)施設]

## 最新のごみ焼却技術により 高度な処理を可能にしたシステムです。

これまで、主に直接埋立処分されてきた可燃ごみからエネルギー回収(熱回収率10%以上)を図りながら、最終処分量の大幅な減量・減容化を図ります。

### 熱回収とは？

ごみを燃やすだけでなく、得られた熱を回収して水を暖め、敷地内の主要な箇所の雪を溶かすなど、有効に利用します。

### 煙突の白煙について

煙突から出る白煙は、冬場などの気温が低い時に排ガス中の水分(水蒸気)が結露して白く見えているものです。排ガス中の水分は、元々ごみに含まれていた水分と、排ガスの温度を下げるために使用した水によるもので、環境への影響はありません。

### 水蒸気と煙の違い

煙突から排出されているものが水蒸気の場合、煙突の出口直後は透明ですが、外気で冷却されるため少し上のほうで白く煙ったように見えます。これに対して、一般的に煙と呼ばれる「ばい煙」類の場合、透明な部分が全くなく、煙突の出口直後から白煙や黒煙が見えます。

## 熱回収設備の設置

融雪用熱供給設備を設置し、ロードヒーティングを行います。また、余熱を利用して場内給湯や暖房等に有効利用します。

## 安全監視

中央操作室では、各設備の稼働状況と排ガス等のモニタリングを行い、安全で確実な運転を管理します。



温水発生装置



中央操作室



ロードヒーティング



ごみクレーン操作盤

### 公害防止基準

測定項目	法規制値	自主規制値
ばいじん	0.15g/m <sup>3</sup> N以下	0.01g/m <sup>3</sup> N以下
塩化水素	700mg/m <sup>3</sup> (=430ppm)以下	100ppm以下
硫酸化物	K値17.5(=5,004ppm)以下	100ppm以下
窒素酸化物	250ppm以下	150ppm以下
一酸化炭素	30ppm以下(4時間平均)*	30ppm以下(4時間平均)
ダイオキシン類	5ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下

\*「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」

測定項目	単位	法規制値	自主規制値	この日 1時平均	この日 2時平均
ばいじん	(g/m <sup>3</sup> N)	0.15以下	0.01以下	0.000	0.000
塩化水素	(ppm)	430以下	100以下	0	3
硫酸化物	(ppm)	5004以下	100以下	10	8
窒素酸化物	(ppm)	250以下	150以下	56	50
一酸化炭素	(ppm)	30以下*	30以下	1	1
ダイオキシン類	(ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	5.00以下	0.10以下	0.0028	0.0001

公害監視モニター



排ガス中の有害物質やダイオキシン類等の発生を抑えるため、高度な公害防止設備を備えています。  
また、ごみの燃焼で発生した熱を有効活用します。

処理フローシート

